

8. 2023 年度 群馬県てんかん地域連携体制整備事業活動報告

独立行政法人国立病院機構渋川医療センター てんかんセンター長 高橋 章夫

1. 概要

昨年度よりてんかんの包括的診療、多職種連携を行うてんかんセンターとして脳外科より独立、当院の専門疾病センターとして活動を開始したが、今年度は設備やシステムの拡充、対外的な市民啓発、患者教育、てんかん学会やてんかん外科学会、JEPICA2024 での発表など、学会活動が活発に行われた。

2. 診療体制と設備等

てんかん診療は脳神経外科医 2、小児科医 1、精神科医 1 の 4 名の常勤医、3 名の非常勤医（脳神経外科、リハビリテーション科、脳神経内科）により行われている。群馬大学付属病院、当院と同じ渋川市内にある群馬県立小児医療センターと連携して昨年度に引き続き移行期医療に力を入れており、標準的なてんかん外科手術も行っている。てんかん診療支援コーディネーターは MSW、言語聴覚士、看護師の 3 名で構成されており、診療連携、患者生活支援について医療福祉相談室、地域連携室とともに MSW が担い、言語聴覚士、看護師はてんかん診療のサポートと、他のメディカルスタッフの教育に従事し、てんかんセンターのレベルアップを図っている。

設備については、脳波計が増設され 4 台となり、連携施設から依頼の多い長時間ビデオ脳波モニタリングの件数を更に増やすことが可能となった。モニタリング用のクリニカルパスが作成され、より効率的な運用により病院経営にも貢献できている。今年度、病院の事業として HCU が開設となったが、ここでも急性期脳血管障害や頭蓋内電極留置症例のモニタリングができるような仕様となっている。

3. 対外活動

年度末に施行予定のパープルデーイベントに先駆け、今年度は下記の講演及び患者談話会を行った。

・てんかんセミナー「てんかんを学ぼう—PART1—」

2024 年 1 月 27 日（土）

テーマ：こどものてんかん、おとなのてんかん

講師 井田久仁子、高橋章夫

終了後、てんかん患者及び家族がお茶を飲みながら自由に語り合う形式の談話会

「えびカフェ」を行い、時間を大幅に超過する盛り上がりで、今後も定期的に行うことになった（図）。

MOSES については 2 回開催され、計 7 名の患者が参加、好評であった。

渋川医療センター
てんかんセミナー
日時: 2024年1月27日(土) 14:00~15:45
開催方法: オンライン開催(ZOOM) PART1
「てんかんを学ぼう!」
てんかんのある人も、周りにてんかんのある人がいる人も、てんかんのある人を支援する人も、てんかんという“個性”と付き合うための知識を一緒に学びませんか?
今回学ぶ内容は... 「こどものてんかん」「おとなのてんかん」です
◆申し込み方法◆
下記のURL又はQRコードよりお申込みください。後日登録のメールアドレス宛にZoom ID・パスコードをご案内いたします。
<https://forms.gle/bqxmMn1JrD5ThtFn6>
お問い合わせ先
渋川医療センター てんかん診療支援コーディネーター
電話 0279-23-1010 (病院代表)

開催します♪
えびカフェ
【えびカフェ: てんかん (Epilepsy) エピソード】のある方、その周りの方がお話し出来る場所 (カフェ)
開催日時: 2024年1月27日(土) 15:55~16:40
開催場所: 渋川医療センター2階 大会議室
参加対象: 渋川医療センターに通院中の患者さん、そのご家族 (20名まで)
【参加にあたって】
◆感染対策のため、マスクの着用をお願いします。
◆熱・風邪症状のある方はご参加出来ない場合があります。
◆付き添いが必要な患者さんがいらっしゃる場合は、“お付き添いスペース”にてスタッフが付き添います。
◆申し込み方法◆
下記のURL又はQRコードよりお申込みください。
※セミナーにも参加される方はセミナー・えびカフェの両方にお申し込みください。
<https://forms.gle/EBnA6x0Ls2GAgEzW8>
お問い合わせ先
渋川医療センター てんかん診療支援コーディネーター
電話 0279-23-1010 (病院代表)

当院はてんかん学会認定研修施設であるが、てんかんセンター所属の井田久仁子医師（当院小児科）が群馬県で 5 人目のてんかん専門医となった。